

ディボーション質問表



12日(月) ルカの福音書 1:5~25 「時が来れば実現する」

1. 御使いガブリエルは、やがて生まれてくるバプテスマのヨハネがどのような働きをする人物になると語っているのでしょうか？
2. 御使いは14節で「あなたにとって喜びとなり楽しみとなり、多くの人もその誕生を喜びます。」と語っていますが、なぜ人々はバプテスマのヨハネに対してそのように思うのでしょうか？

13日(火) ルカの福音書 1:26~38 「お言葉どおりに」

1. 御使いはマリヤに、「恵まれた方」と呼びかけています。なぜマリヤを恵まれた方と呼んだのでしょうか。このように呼ばれたマリヤはどのように感じていますか？ あなたならそう呼ばれたらどう思うのでしょうか？
2. マリヤは「おことばどおりこの身になりますように」と言っています。マリヤにとってこれは何を意味していたのでしょうか？ またマリヤはなぜこのように言う事が出来たのでしょうか？
3. あなたにとって不可能に思える神の約束が何かありますか。静まって聞いてみましょう。

14日(水) ルカの福音書 1:39~56 「主をあがめます」

1. エリサベツとマリヤに共通している点は何でしょうか？
2. マリヤは、エリサベツから「主によって語られたことは必ず実現すると信じきった人」と言われています。信じきるとはどのようなことでしょうか。なぜマリヤはそうする事が出来たと思いますか？
3. この箇所幸せについての説明があります。幸せなのはどのような人だと言われていますか？ その幸せについての説明を読んであなたはどう思いますか？

15日(木) ルカの福音書 1:57~66 「対話の回復」

1. ザカリヤとエリサベツは当時の習慣に従わないで、子どもの名前を「ヨハネ」と名付けました。どうしてそのような名前にしたのでしょ。そのようなした両親の姿をどう思いますか？
2. 人々は、両親がヨハネという名前をつけた事と、その時にザカリヤが再び話せるようになった事を伝えました。それを聞いた人々はこの事を心にとどめたとあります。私たちは聴いたみことばを心にとどめているのでしょうか？

16日(金) ルカの福音書 1:67~80 「暗闇から光へ」

1. ザカリヤはなぜ主を賛美しているのでしょうか？ また救いとは何から救われる事だと言われているのでしょうか？ なぜ救って下さるのでしょか(68~75節)？
2. 幼子(ヨハネ)の使命は何だと言われているのでしょうか？ あなたは自分に与えられている使命が何なのか、はっきりしているのでしょうか？ はっきりしていないなら、主に聞いてみましょう。

17日(土) ルカの福音書 1:5~80 (今週のまとめ)

1. それぞれの段落(5~7、8~23、24~25、26~38、39~56、57~66、67~80節)ごとによく出てくる言葉を探してみましょう(喜び、あわれみ、聖霊、救いなど)。よく出てくる言葉を参考にして、各段落に小見出しをつけてみましょう。
2. 上の作業で付けた小見出しを参考にして、一章全体がどのようなつながりを持っているかを観察してみましょう。そして大見出しを付けてみましょう。このように読んでみることによって、短く区切って読んでいた時には気が付かなかった新しい発見が何かあったのでしょうか？